

(委員会設置背景)

各委員会が効果的な事業展開をしていくためには、適切な時期に事業を行う必要があるとともに、会員が士気を高め合い続ける必要があります。

(委員会設置目的)

各委員会が担当事業に注力しより効果的な事業展開できるよう、三役が担当する定例会を着実に運営することで、会員が士気を高め合い続けられる環境を創出することを目的とします。

(委員会概算全体予算)

No1	2月定例会 合同懇談会	予算	0円
No2	社団法人中和国際青年商會 歓待事業	予算	600,000円 内訳: 寄付金収入500,000円、本会計100,000円
No3	4月定例会	予算	0円
No4	5月定例会	予算	0円
No5	6月定例会	予算	0円
No6	7月定例会 秋田ブロック大会	予算	0円
No7	OB交流会	予算	10,000円
No8	10月定例会	予算	0円
No9	11月定例会	予算	0円
No10	全日本残月花火選手権大会	予算	776,000円 内訳: 登録費250,000円、寄付金収入300,000円、本会計226,000円
		合計	1,386,000円

(事業内容)

■(No1) 2月定例会 合同懇談会

(事業)

1) 実施に至る背景: LOMで効果的な事業を展開するためには、秋田ブロック協議会を構成する他LOMとの交流を深めると共に、出向しているLOMの同志の雄姿を見届ける必要があります。

2) 目的:

【対内】公益社団法人日本青年会議所東北地区秋田ブロック協議会のアカデミー開校式・合同懇談会・賀詞交歓会へ参加し会員会議所会議をオブザーブすることで、各LOM会員との交流を図ることを目的とします。

3) 概算予算: 0円

4) 実施期間: 2024年2月3日(土)

5) 事業内容: 公益社団法人日本青年会議所東北地区秋田ブロック協議会のアカデミー開校式・合同懇談会・賀詞交歓会への参加と会員会議所会議のオブザーブ

6) 目標数値: ①:大曲JCの正会員の80%の参加達成

7) 得られる効果: 交流を深めることで、LOMでの今後の事業展開に生かすことができます。

8) パートナー: 公益社団法人日本青年会議所東北地区秋田ブロック協議会・各LOM

■(No2) 社団法人中和国際青年商會 歓待事業

(事業)

1) 実施に至る背景: 大曲青年会議所が国境を越えた友情と、国際理解を深めるためには、社団法人中和国際青年商會との交流を深める必要があります。

2) 目的:

【対外】新たな国際交流の展開を創出するとともに、国際交流を通じた新たなまちづくりの展開につなげることを目的とします。

【対内】JC活動において、国境を越えた友情をも育む機会が与えられていることを再認識し、中和JCとの友情を深めることを目的とします。

3) 概算予算: 600,000円 内訳: 寄付金収入500,000円、本会計100,000円

4) 実施期間: 4月頃(未定。正式決定は社団法人中和国際青年商會との再協議後)

5) 事業内容: 中和JCの皆様をおもてなしいたします。

姉妹締結35周年を記念する式典を執り行います。

また歓待中の内1夜を定例会とし来賓をお招きした大懇親会を執り行い、地域も巻き込んだ交流としていきます。

6) 目標数値: ①:定例会を除いた開催日の正会員による延べ参加人数20人の達成

7) 得られる効果: 国境を越えた友情と、国際理解が育まれます。国際交流を通して新たな気づきを得ることで、今後のまちづくりの展開に活かします。

8) パートナー: 大仙市、仙北市、美郷町、大仙市国際交流協会、仙北市国際交流協会

■(No3.4.5.8.9)4.5.6.10.11月定例会

(事業)

1) 実施に至る背景:

各委員会が何をしていたどのような悩みを抱えているのか、出向しているメンバーがどのような活動をしているのかをメンバー全員が共有しやすい環境を整備し、それによる成長の機会を作る必要があります。

2) 目的:

【対内】大曲JCの現状の確認と問題点を共有し、会員同士が新たな学びを得て相互作用で成長することを目的とします。

3) 概算予算: 0円

4) 実施期間: 4月24日(水)・5月23日(木)・6月21日(金)・10月23日(水)・11月22日(金)

5) 事業内容: 定例会セレモニーの中の委員会報告と出向者報告を通常の定例会セレモニー以上に盛り込むことで各委員会や出向者の現状を各会員に認識していただき、メンバーの結束に繋がります。

6) 目標数値: ①:定例会参加率の80%以上の達成

7) 得られる効果: メンバー同士の状況が共有しやすい環境となり、それによる成長の機会が生まれます。他メンバーの躍動に触れ、士気が向上します。

8) パートナー: 無し

■(No6)7月定例会 秋田ブロック大会

(事業)

1)実施に至る背景:LOMで効果的な事業を展開するためには、秋田ブロック協議会の最大の発信の場である秋田ブロック大会に参加し、会員の質を向上し他LOMの会員との交流を深める必要があります。

2)目的:【対内】会員の資質向上と、秋田県内各LOM会員との交流を図り、今後の事業構築に活かすことを目的とします。

3)概算予算: 0円

4)実施期間: 7月6日(土)

5)事業内容:公益社団法人日本青年会議所東北地区秋田ブロック協議会の第54回秋田ブロック大会in大館への参加。

6)目標数値: ①定例会参加率の80%以上の達成

7)得られる効果:ブロック大会やメインフォーラムの運営を肌で感じるにより会員の資質が向上し、他LOMのメンバーと交流を深めることで刺激を受け、今後の活動への士気が向上します。

8)パートナー:公益社団法人日本青年会議所東北地区秋田ブロック協議会・各LOM

■(No7)OB交流会

(事業/推進)

1)実施に至る背景:以前に比べ会員数が減少している大曲青年会議所において、特別会員・賛助会員との連携が尚更重要です。現役会員と特別会員・賛助会員の絆を深めるとともに、次年度体制を披露する機会が必要です。

2)目的:

【対外】現役会員及び特別会員・賛助会員が互いの絆を深めると、大曲JCの運動・活動に対し、さらなるご支援・ご厚情を賜るとともに、次年度体制を周知することを目的とします。

【対内】現役会員及び特別会員・賛助会員が互いの絆を深めるOB交流会を開催することで、JC運動・活動のさらなる前進につなげることを目的とします。

3)概算予算: 10,000円

4)実施期間: 2024年9月23日(月)

5)事業内容:現役会員と特別会員・賛助会員が顔を合わせて交流する機会として、また、次年度体制をお披露目する場としてOB交流会を実施いたします。

6)目標数値: ①定例会参加率の80%以上の達成 ②特別会員・賛助会員の参加者数25名以上の達成

7)得られる効果:現役会員及び特別会員・賛助会員が互いの絆が深まります。大曲JCの運動・活動に対し、さらなるご支援・ご厚情を賜ることができます。

8)パートナー:無し

■(No10)全日本残月花火選手権大会

(事業)

1)実施に至る背景:大仙郷の伝統文化の魅力を、夢をつかみ取ることの大切さとともに未来を担う子供達へと受け継ぎ、愛郷心と誇りをもって地域内外から関心が高まる地域を想像する必要があります。

2)目的:

【対内】:伝統文化に携わることで、今一度まちづくりへの関心を高めることを目的とします。

【対外】:伝統文化に触れていただくことで、大仙郷への愛郷心を抱いていただくことを目的とします。

3)概算予算: 776,000円 内訳:登録費250,000円、寄付金収入300,000円、本会計226,000円

4)実施期間: 2024年11月3日(日)

5)事業内容:関係各所から後援や協賛を得て、全日本残月花火選手権大会を開催します。

6)目標数値: ①:大曲JCの正会員の80%の参加達成 ②:公募による参加者の参加100人の達成

7)得られる効果:全日本残月花火大会を開催することで次の効果が期待できます。

①伝統文化を次世代へとつなぐことができます。 ②大曲JCのPRにつながります ③協力団体や参加者との関係が強化できます。

8)パートナー:大仙市、大仙市教育委員会、仙北市教育委員会、美郷町教育委員会、NPO法人大曲花火倶楽部、一般社団法人大仙市観光物産協会、株式会社秋田テレビ、株式会社TMO大曲、大曲商工会議所